

11月に入ると日増しに寒くなり、本格的な冬の到来ですね。

さて、犬はよく「震える」ことがありますね。人間も寒さで震えることがあります。犬も同じです。寒さのほか、「恐怖」や「体調不良」が原因のこともあるので注意してください。

寒さを感じると、体温を保つために震えて熱を発生させようとします。犬は、人間よりも低い位置で生活しているので、冷たい空気を感じやすい環境にいます。特に、子犬は寒さに弱いので、震えが見られるときは温度に気を配ってください。

「怖い」ときにも震えることがあります。地震や掃除機

あんしんペットライフ

124

## 震えるのは寒いから？

の音など、普段と異なる環境でストレスを感じると、震えてしまうのです。この場合は、そばにいてあげたり、部屋を暗くしてみたりなど、犬が落ち着ける環境をつくってください。

最後に、犬は「体調不良」のときにも震えてしまいます。例えば、熱がある▷痛みがある▷気持ち悪い▷低血糖やホルモンの病気がある—など何らかの異常を感じている可能性があります。「寒い」「怖い」の2つに当てはまらない震えが続くときは、体の異常のサインと捉え、早めに動物病院を受診しましょう。

その際は、食欲があるかどうか、下痢や嘔吐<sup>おうと</sup>はしていないかも確かめて、獣医に知らせてください。

人は自分で環境を調節し、体の違和感を言葉で伝えることができます。犬はそれができないからこそ、飼い主が日々のサインを見落とさないことが重要なのです。「いつもと違うな」という感覚を大切にし、気になることがあれば気軽に獣医に相談してみてください。犬にとって、飼い主は健康を守ってくれる心強い存在なのです。

(アニコム損保

獣医師 中山舞)